

夢をかたちに…!!

発行人
星野みつひろ後援会
〒354-0021
富士見市大字鶴馬2612-7
TEL/ 049-254-6332
FAX/ 049-252-4651
www.hoshino-corp.com/3hiro/
e-mail : 3hiro@hoshino-corp.com

平成21年8月1日 No.15

mitsuhiro hoshino supporters news letter

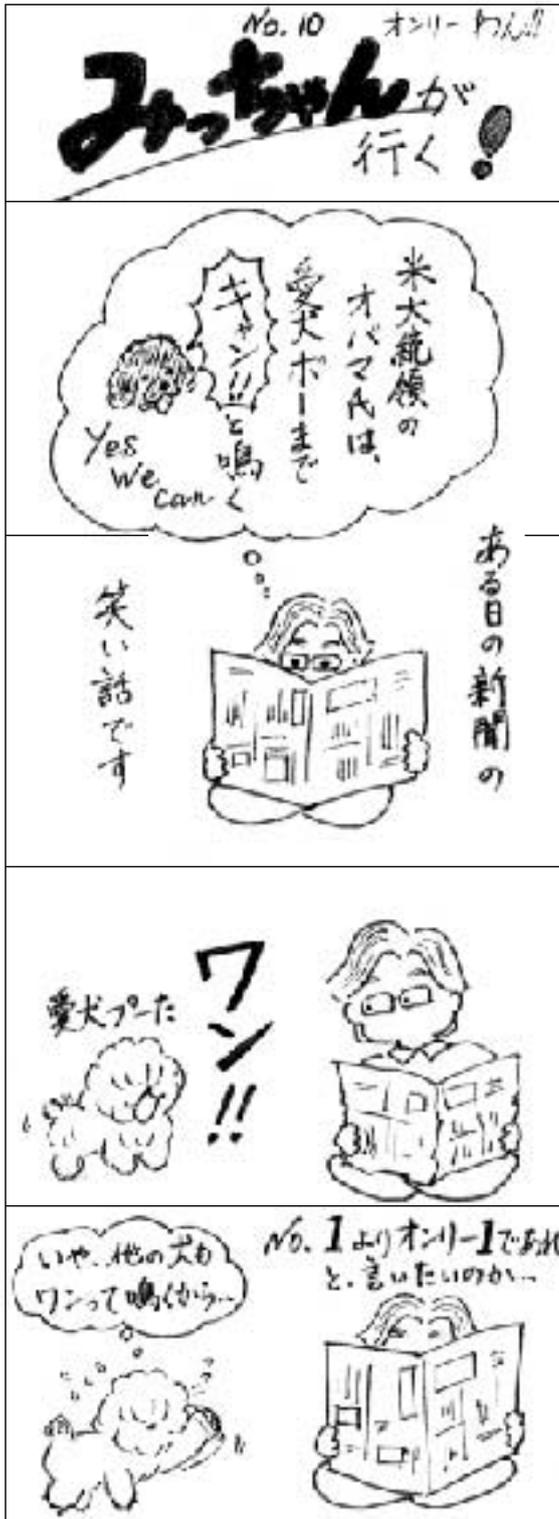
議会基本条例の策定を！

私は議会内の会派代表者会議で「議会の改革をさらに進めるために、議会基本条例を策定すべきだ」と提案をしています。それは、地方分権がますます進むことで、地方議会の責任と役割が一層大きくなっていくからです。一方で、地方自治は二元代表制です。現在の首長と議会の関係はこの原理原則に則っているか、自戒と反省をもってみるしかありません。地方分権時代に相応しい議会に、二元代表制の考えを生かす議会となるよう、条例の制定にむけて、会派を超えて議論すべきだと思っております。

論を深め、自治体運営の基本的な方針を決定し、その執行を監視し、また立法権限を生かし政策形成を図ることこそ、議会の権能と使命であります。さらに近年、議会の公正性・透明性の確保が求められており、市民に開かれた議会、市民参加を推進する議会を目指すべきです。このような考えを具体的な姿として表したものが議会基本条例です。皆さんはどのように思われますか。



愛犬の“プーた”と。



平成21年・臨時議会報告

●●● 議会トピックス① ●●●

5月29日に臨時会が開かれ、人事院勧告に伴う、職員等の期末手当の減額を行うため、支給基準日の関係で5月中に開催したものです。議員の報酬についても議員提案により削減しました。

○ 富士見市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

○ 富士見市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

*民間の夏期賞与が大幅に減少しているなかで、国は人事院勧告により国家公務員の給与改定を行いました。当市でも一般職、特別職の6月に支給される期末手当、勤勉手当の一部0.2ヶ月分を凍結する改正条例案が提出されました。

また、われわれ市議会議員の期末手当についても、率先して市民の信頼に応えるべく0.2ヶ月分を減額する条例改正案を議員提案により提出し、両案とも可決しました。議員提案は私達会派が取りまとめたものです。両案の可決による削減額は約5,500万です。

平成21年・6月定例議会報告

●●● 議会トピックス② ●●●

6月定例会の主な議案はH21年度一般会計補正予算、町の区域を新たにすることに於いて等の議案が上程され可決しました。

○ 富士見市一般会計補正予算

*国の経済対策を受けた緊急雇用創出事業として、精神保健福祉士による職員のメンタルサポート事業、ゴミ集積所調査管理事業、小学校樹木維持管理業務委託事業等の7事業に雇用者数47名、約47,000万円の事業予算です。緊急性を重視するあまり、事業の内容やその成果をないがしろにしないよう注意を求めました。また、水子と針ヶ谷を結ぶ東武鉄道跨線橋「水谷人道橋」の新設工事関係費54,000万円が計上されました。完成はH22年3月の予定です。東武鉄道にも対応の負担をお願いしました。

○ 町の区域を新たに画することについて

*勝瀬原区画整理事業の完了に伴い、事業対象地域の町名を変更し、ふじみ野駅東側を「ふじみ野東1〜4丁目」、西側を「ふじみ野西1〜4丁目」とする議案です。区画整理組合は名称希望調査を実施し、「勝瀬

と「ふじみ野」がほぼ同数という結果でしたが、まちづくりが進む中で名称が浸透している「ふじみ野」を選択しました。しかし、隣接するふじみ野市には既に「ふじみ野」という地名があり、紛らわしさを否めません。今後も地域のまちづくりに努力し、良い意味で差別化を図ることだと思えます。

富士見都市計画事業
勝瀬原特定土地区画整理事業
変更後 町名・町界図





これからの富士見市を語る 7

前回、富士見市の医療・介護について、予防医学・介護予防の推進、開業医等の医療保健・福祉関係者の横のつながりによるサービスの充実等を提案しました。

今回は、企業誘致について考えてみます。自主財源（市が自主的に収入することができるとも増収を図る方策として、人口を増やすことと、企業等の誘致があるでしょう。市民の働き口を確保するということから、企業の誘致は魅力的です。では、どのような企業（産業）が想定できるでしょうか。圏央道その他の道路整備が進んだことで、多くの製造業関連企業が、坂戸や川島方面の工業団地に移転してしまいました。また、情報産業等（ソフト産業）は、近年では東京に集中する傾向にあり、誘致は困難になっています。

東京に近く交通が便利というわが市の利点を生かすのであれば、流通、医療・福祉学校、そしてエンタテイメント産業等に期待が持てそうです。これらを誘致し、そこ



圏央道・川島インター産業団地内に建設された、パスコ埼玉工場

で働く住民、そこで消費する住民を増やしていくことで、地産・地消も生まれてくるでしょう。

その実現のためには、まずは富士見市を“住みたくなるマチ”にすることが必要です。少なくとも、どこに住んでいますか？と尋ねられて市民が「川越のそばです」などと答えざるを得ない町であってはいけません。“富士見市のイメージづくり”をどうするか。ともに考えていきたいと思えます。

みつひろに

苦言・甘言

|| くれげん・かんげん ||

“夢をかたちに”いいですね、この響き。そこでこんな一主婦のひとり言を聞いて下さい。福祉、福祉と毎日のように新聞に取り上げられています。そのほとんどは子供やお年寄りに対しての国の政策。もちろんこれも大事なことです。もう一つ、忘れてならないのは、これらを背負う若者へのまなざしではないでしょうか。

マスコミで取り上げられるのは青少年の犯罪ばかりです。でもその一方でまじめに働き頑張っている若者達がたくさんいること。彼らに働く場所、集まる場所を。そして生まれ育ったこの町を胸を張って、我がふるさと”と言える町に作るのが大切なのでは。

それには若きリーダーが良いお手本を示し行動してくれること。そんなリーダーが光弘さんです。何でも受け止めてくれるその大きな体。説得力あるその大きな声で。

夢のある社会を、そして明日の夢を。期待しています！（関沢の一主婦より）

今年4月23日、米疾病対策センター（CDC）が7人の豚由来インフルエンザ（H1N1）感染を発表。メキシコにて多数の感染者、死者がみられ、その後アメリカ、カナダなどにおいても感染者が見られ、WHO（世界保健機構）は4/29パンデミック（世界的汎流行）の警戒レベルをフェーズ5に引き上げました。

日本においては5/9成田空港の検疫で複数名発見され、さらに5/16以降、渡航歴のない関西在住の高校生から多数の感染発病者が発見され、わが国において感染拡大、流行が広がり、6/12において国内の報告数21都道府県で539（死者0）人。世界の報告数75カ国で27,737（死者141）人となり、冬を迎えた南半球では6月に入り感染拡大が広がり、WHOも6/11最高警戒レベル、フェーズ6に引き上げました。

埼玉県においても6/2県内三人目、留学先のカナダから帰国した女性（26）の感染を確認しました。（6/12現在埼玉県では4人確認）政府は強毒性のトリインフルエンザ（H5N1）を想定した国の行動計画に基づいて、検疫の実施、疑い症例の入院処置、濃厚接触者の停留処置、発熱外来設置などが講じられました。幸い今回のH1N1型インフルエンザは感染力、伝播力は強いが、発症時の臨床的重症度は季節性インフルエンザと同程度ということがわかり、そのためさまざまところで混乱が起きました。

医療現場では、神戸市、大阪府での感染者の増加に伴い、発熱外来がパンク状態になったり、我々医療機関でさえ、インフルエンザ診断キット、マスク、消毒薬、抗ウイルス薬などが調達できないくらい混乱が続きました。専門家からは

- ① 秋から来るH1N1型インフルエンザの第2波が危惧される。（20世紀の新型インフルエンザは国内ではすべて2回の流行を起こしていること）
- ② 新型インフルエンザは、いずれ数年後には季節性インフルエンザとなって誰でも罹患しうる病気となる
- ③ 新型が流行すると初期には青壮年層被害が基大となり、数年後の被害は高齢者中心となる
- ④ 重症例にはウイルス性肺炎よりも細菌性肺炎、呼吸不全例が多く見られる。（65歳以上の高齢者や慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、糖尿病などの方には肺炎球菌ワクチンの積極的接種を考慮）
- ⑤ 一般予防策ではうがい、手洗い、マスクが効果的
- ⑥ 医療従事者の感染予防にはサージカルマスク、手洗いなどが有効・・・などが提言されています。

インフルエンザを含め感染症とはうつる病気であり、広がる病気であり、日本においては人口密度が高く、人の移動も多いので感染が広がるのは必然でもあります。（これは世界においても当てはまり、まさに今世界的大流行が起こっていることを意味します）今回の流行騒動は、むしろ社会が学習するための予行演習として、これから秋以降予想される第2波に備えてしっかりとした対応を取れるか、医療を含め社会の対応が試されています。適切な予防法を知り、過剰に恐れることなく冷静に対処していくべく普段からの健康管理の重要性が大切となります。

編集者のつぶやき★

感謝、感謝の春が終わり、新たな想いを胸に“全身”で再・“前進”！そして、暑い夏を迎えましたが、第15号の星野みつひろの熱い想いが届きましたでしょうか？今後も熱い想いを皆様にお届けできるよう、編集者一同頑張ります。

星野みつひろ
公式ホームページ
www.hoshino-corp.com/3hiro

